

# 関東良陵だより

## 東北大学良陵同窓会

### 関東連合会定期総会開催

東北大学良陵同窓会関東連合会総会(通称関東良陵会)は、平成二十三年六月十八日、関東良陵アカデミアに引き続いて市谷アルカディアにおいて、四十五名の会員の出席のもとに午後四時三十分から開催された。

会長挨拶に引き続いて、今回の東日本大震災で死亡された良陵同窓会員九名と関東良陵同窓会の逝去会員二十六名に対して黙祷が行われた。

次いで、今回の大震災で甚大な被害を受けた東北大学医学部系研究科震災復興助成金の、関東良陵同窓会としての募金の状況について、岩瀬 光会計担当幹事から説明があった。現時点で九十余名から二百八十万円余の募金があり、なかには二十万円、十万円の募金をされている会員も少なくないこと、現在も募金は続いているとの報告があった。続いて役員会では承認されているが、この個人募金に加えて関東良陵同窓会の総意として、関東良陵同窓会の繰越金の中から、百万円を上乗せして東北大学医学部に送金する件が、本総会で承認頂けるかについて、会長から提案があり、満場一致で承認された。

次に、新田澄郎幹事長、根本 宏副幹事長から経過報告として、今後の役員会日程、新任教授として、須納瀬弘先生が、東京女子医大耳鼻咽喉科教授に、根東(こんどう)義明先生が日本大学医学部社会医学系医学管理学分野教授に就任されたこと、信田重光先生が、瑞宝中授賞、永井一成先生が本部から良陵同窓会功労賞(神奈川県支部長)を受賞されたことの報告があった。

その後、田中佐喜子女医会担当幹事から、本年の女医会は震災のため中止になったこと、次いで、岩瀬 光会計幹事から、平成二十二年度の会計報告があり、会費納入率が極めて悪く(十八%)、四十万円の赤字決算であることが報告された。

午後五時から、聖路加国際病院副院長・小児科部長 細谷亮太先生の特別講演「トータルケアの概念」に移った。先生は、昭和四十七年東北大学卒業後、ただちに聖路加国際病院に赴任された。その理由の一つに、東北大学では研究第一主義のためか、偉い先生が「患者などを診て、研究を疎かにする者がいる」等という発言に抵抗を感じたとのことであった。研究第一主義、実学重視を掲げる東北大学であるが、臨床教室にあつては、臨床と教育こそが、第一の使命ではないかと考えさせられるご発言であった。先生は多くの有名な著書や、小児がんの子供たちのための医療活動で全国的に大変高名な方であり、この講演でもユーモアを交えながらの含蓄ある講演に、会員一同大きな感銘を受けた。

引き続き全員写真(本紙二ページに掲載)の撮影を行い、午後六時から懇親会に移った。アフターデナーコンサートは例年の如く根本宏先生のお世話で仙台市出身のピアノニスト高橋礼恵さんの馴染み深い名曲のピアノ演奏に酔った。最後は恒例の神津先生(九十二歳)の荒城の月の力強い歌声で締め括った。その間、岩瀬、田中両先生の司会で会員の近況報告があり、しばらくぶりに出席した会員と和やかに旧交を暖めた。(文責 高橋俊雄)

\*会費納入のお願い 年会費の納入を本紙四ページ記載の要領に  
てお願い申しあげます。



写真上 平成23年関東良陵同窓会総会集合写真

平成二十三年度

関東良陵アカデミア

本アカデミアは、これまで押田茂實日大教授のお世話で、関東良陵同窓会から出来るだけ沢山教授を輩出することを目的に、若手会、教授会、教職員会の名の下に毎年開催してきた。今回から大学関係者だけでなく多くの関東良陵同窓会員も参加しやすくするため、関東良陵アカデミアと改称して、関東良陵同窓会総会前の平成二十三年六月十八日午後二時から総会会場市ヶ谷アルカデアで開催された。押田茂實先生の挨拶の後、新しく日本大学医学部社会医学系医学管理学分野教授・根東（こんどう）義明先生が、これまでの経歴、今後の抱負等について述べられた。先生は昭五十六年卒、東北大学小児科入局、助教授を経て、医療情報部教授に就任されたが、平成二十三年一月に現職の日本大学教授に就任された非凡な経歴の持ち主である。五十四才の若さで東北大学名誉教授でもある。先生は今後、首都東

京で思い切り自分の仕事をしたいとの抱負を述べられた。

次いで、川名正敏東京女子医大、循環器内科教授からご講演を頂いた。先生は昭五十二年卒、東京女子医大循環器入局、講師、助教授を経て平成十六年教授に就任された。次いで、新しく東京女子医大耳鼻咽喉科教授に就任された須納瀬 弘先生（昭六十二年卒）から、最新の耳鼻咽喉科手術をDVD動画で示された。耳鼻咽喉科では全国に多数の東北出身の教授が現在活躍中であるとのことである。これに習って内科、外科などでも以前のように東北大から全国に多くの教授を輩出して欲しいものである。最後に、順天堂大学医学部衛生学教授・横山和仁先生からご講演を頂いた。先生は昭五十二年卒後、東大公衆衛生学助教授を経て三重大学公衆衛生学教授、平成二十一年から現職をお勤めである。押田先生の司会の下で活発な討論があり爽やかな会であった。（文責 高橋俊雄）

## 東北大学一〇四周年 関東交流会について

信田重光（昭二九）

表記の旧東北大学全学同窓会  
関東支部会（現秋友会関東支部  
会）が、「震災復興に向けて」の  
副題のもとで、七月十日（日）  
午後二時よりサピア・タワー

（東京ステーション・コンファ  
レンス五階）で行われた。

開会の挨拶として、井上総長  
（秋友会長）が、三月十一日の  
東北大地震に際しての東北大学  
各学部の被害について、建物の  
損壊等は少なかったが、特に工  
学部、理学部の一部の科の精密  
機械の地震による被害がかなり  
多く、また、今年新入学予定者  
中二名の死亡が確認されたが、  
それ以外の大学関係者の、家屋  
流失、破壊等の被害はあったが、  
死亡事故は無かったことなどを  
説明し、大学復興について各科  
とも努力を重ねており、また、  
物質損害については特別予算の

交付の決定を得ていることなど  
を説明され、北村副学長からも  
大学の復興中の研究・教育など  
が支障無く行われていることの  
詳細な説明があり、米本入試セ  
ンター長より入試は多少日時を  
延長したが、無事終了したこと、  
野家秋友会代表理事より大災害  
の復興について秋友会の援助活  
動等により、大学の研究・教育  
等について着々と復興が進めら  
れているという力強い報告があ  
った。

次いで講演会では「東日本大  
災害の実態と多くの教訓」と題  
して、工学部災害制御研究セン  
ター長今村文彦教授より、今回  
の災害は地震により津波による  
被害が甚大で、土木工学の見地  
からの土壌分析と歴史的古文書  
により、東北地方太平洋沿岸で  
は数千年前より略々千年単位で  
このような大地震、大津波が存  
在していたことを実証され、将  
来の沿岸地帯での人口集落地の  
建設に示唆に富むお話であった。  
更に、副学長里見 進大学病  
院長より「東日本大震災―大学  
病院の対応と今後の課題」と題  
して、災害直後より復旧の過程

を四段階に分け、第一段階は入  
院患者及び職員の安全確保と緊  
急のトリージ、第二段階は病  
院機能の復旧と仙台市周辺の医  
療機関への支援、第三段階は、  
県内外の医療機関への支援強化  
第四段階は避難所の長期的診療  
体制の整備と病院機能の正常化  
等の段階の処置を行い、おおむ  
ね「最後の砦」としての機能を  
果たしたと報告された。  
しかし、各科研究室内の研究  
機具の損傷はかなり多かつた由  
である。

いずれにしても、母校東北大  
学の諸機能が着々と復旧してい  
る報告に多くの参会者は安堵し  
たことであつた。

講演会終了後、懇親会で神津  
支部長の「大学が大災害のあと  
着々と復興していることに誇り  
を覚える」と挨拶のあと、会員  
同志の懇談に移ったが、毎回医  
学部よりの出席が少なく、小生  
の存じ上げている方は、役員の  
近藤正太郎先生のみであつた。

小生、学生時代、大学オーケ  
ストラに所属していたが、その  
頃オケラのマネジャーをしてお  
られた石川恭久氏（昭和二九工

卒）と、卒業後それこそ五十年  
ぶりに会えたことは嬉しかった。  
全学同窓会のお陰であつた。

（関東良陵会顧問）

「関東良陵だより」並びに「関東  
良陵同窓会HP」への情報提供の  
お願い

この度の東北大地震で被害を  
受けた母校の復興に対して会員  
諸氏の温かいご寄付を賜り厚く  
お礼申しあげます。母校も着々  
と復興しているようです。

関東良陵だよりは、これまで  
会員の皆様にさまざまな情報を  
提供して参りました。また、東  
北大学良陵同窓会関東連合会の  
ホームページは、本部良陵同窓  
会のHPに先駆けて平成十七年  
に開設され、現在まで約一万件  
に及ぶ多くのアクセスがありま  
した。今回、内容を充実するた  
め、会員各位の情報（教授就任、  
叙勲、新規開業、就職希望、移  
動など）を募集することに致し  
ました。東北大学良陵同窓会関  
東連合会東京支部（四頁最後）  
まで情報をおよせ下さい。

（関東良陵同窓会

幹事長 新田澄郎）

東北大学医学系研究科  
震災復興支援募金の  
御礼とお願ひ  
関東良校同窓会会長  
高橋俊雄

東北大学医学部研究科は、今回の大震災により開学以来の甚大な被害をうけましたが、現在、全力で復興に当たっているとのことであり

この復興のため東北大学医学研究科では震災復興助成金制度を設立し、その使途は、主に今回の震災で親元から仕送りの途絶えた学生の支援、奨学金などに当てたいとのことであり

関東良校同窓会といたしましては、六月十八日の総会において、この東北大学医学系研究科震災復興助成金に對して募金活動を行うこと、現在保有している基金の中から、老百万円をこの震災復興助成金に寄付することが満場一致で承認されました。現在、募金活動を実施中ですが、現在まで約百名の関東良校同窓会員の皆様から約三百万円（基金と合わせて四百万円）の暖かいご支援を頂き既に送

金しました。この中には、二十万円、十万円と高額のご寄付を頂いた方々もおられ、厚く御礼申し上げます。

募金活動は現在も続けておりますので、未だ本募金に依りておられない関東良校同窓会員の皆様におかれましては、既に各種組織を通じて義援金に応じられていても多いかと存じますが、今回の大震災により経済的に困窮している後輩医学生のため、ご支援を賜りたく存じております。

今回は、関東良校同窓会として特にまとめて募金することは致しませんが、東北大学医学部本部から送られてきた用紙を用いるか又は東北大学大学院医学系研究科財務室経理課に「寄付申込書」等の手続きを直接行って募金をお願い申し上げます。なお、本募金は、税制上の優遇処置がうけられますので、所得控除を希望する方には、東北大学医学研究科経理係から、領収書ならびに所得控除書が、後日送られてきます。

関東良校同窓会受勲者並びに授賞者  
瑞宝中授賞

\* 信田重光（独協大学名誉教授。関東良校会顧問）

良校同窓会功労賞

\* 永井一成（神奈川県支部長・関東良校会顧問）

平成二十三年関東良校同窓会・新任教授

安田 宏 昭五九卒  
（聖マリアンナ大学・消化器・肝臓内科）

須納瀬 弘 昭六三卒  
（東京女子医科大学・耳鼻咽喉科）

根東義明 昭五六卒（日本大学医学系医学管理分野）

逝去会員（敬称略）

荒井勉	S 14	卒内 1
小池重夫	S 25	公衛
大西四夫	S 16	皮膚
石塚 明	S 19	
大金林太郎	S 19	眼
江部 充	S 21	生 2
菊池 浩	S 21	小 外
小林勝太郎	S 22	
檜山猛夫	S 23	
滝田一郎	S 24	内 1
竹田 弘	S 24	外 1
橋本 茂	S 24	

森岡 博	S 24	
山本 一郎	S 24	
高木 有	S 25	外
白川 恵一郎	S 26	産婦
江口 洋一	S 28	内 1
菊池 由夫	S 29	外 2
滝田 仁	S 32	
津島 信則	S 33	精神
竹内 敏博	S 35	衛生
関根 毅	S 36	外 1
西橋 礼子	S 40	
柴田 稔	S 45	麻酔
堀江 克之	S 46	細菌
大熊 輝雄	S 49	精神
高橋 慎一郎	S 35	外 2
斎藤 肇	S 25	産婦

会費納入のお願ひ

昨年度の本会決算では大幅の赤字となっております。今年度会費三千円を同封の振替用紙にてご納入ください。振替用紙の入っていない方は本年度会費未納の方です。行き違いの場合にはご容赦下さい。

東北大学良校同窓会  
関東連合会東京支部  
〒247-0072  
神奈川県鎌倉市岡本  
二・二・一・七〇四  
TEL & FAX  
〇四六七  
(四五)〇二八七